



沖縄県国頭村

議会だより

題字・国頭中学校2年 おがわ にこ 小川 笑

令和4年8月26日発行 第126号



コロナ禍でも私たちの思いは熱く!(8月10日 夏の成人式)

CONTENTS

令和4年第5回(5月)臨時会・第6回(6月)定例会

令和4年第7回(6月)臨時会 2

一般質問 4

米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリの不時着に対する抗議決議 11

令和4年第5回 臨時会(5月)

議案番号	件 名	議案等の概要	結果
議案第40号	令和4年度国頭村一般会計補正予算(第1号)	4,437千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第41号	国頭村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	県人事委員会の給与勧告及び他市町村の給与改定等を考慮し、給与改定を行うため改正(期末手当の減額)	原案可決 (賛成多数)
議案第42号	専決処分の承認を求めるについて「国頭村税条例の一部を改正する条例」	上位法の改正に伴う改正	原案可決 (全会一致)
議案第43号	専決処分の承認を求めるについて「国頭村国民健康保険税条例の一部を改正する条例」	上位法の改正に伴う改正	原案可決 (全会一致)
議案第44号	国頭陸上競技場改修工事請負契約について	契約の方法 …………… 指名競争入札 契約金額 …………… 192,984,000円 契約の相手方 … 有限会社 国栄建設	原案可決 (全会一致)

令和4年第6回 定例会(6月)

議案番号	件 名	議案等の概要	結果
議案第45号	令和4年度国頭村一般会計補正予算(第2号)	163,827千円の増額補正	原案可決 (賛成多数)
議案第46号	令和4年度国頭村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	1,386千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第47号	国頭村議会議員選挙及び国頭村長選挙における選挙運動に係る費用の公費負担に関する条例の制定について	公職選挙法の改正に伴う村議会議員選挙及び村長選挙における選挙公営の拡大、村議会議員選挙におけるビラ頒布の解禁・供託金制度の導入等	原案可決 (全会一致)
議案第48号	国頭村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する保険税の減免申請の特例	原案可決 (全会一致)
議案第49号	国頭村地域防災計画の変更について	計画変更のため、地方自治法第96条第2項の規定により議会の議決を求める(国頭村議会の議決すべき事件を定める条例第2条)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件 名	議案等の概要	結果
議案第50号	国頭村過疎地域持続的発展計画の一部変更について	国頭村空家等対策計画改定事業、国頭村トレイルランニング大会運営補助金の追加記載	原案可決(賛成多数)
議案第51号	スポーツコンベンション観光振興事業陸上競技場第3種公認対応備品の取得について	取得数量・陸上競技場 第3種公認対応備品 一式 取得金額……………12,130,800円 契約の相手方…株式会社 沖縄スポーツ	原案可決(全会一致)
議案第52号	スポーツコンベンション観光振興事業施設整備用トラクター備品の取得について	取得数量 トラクター……………1台 ミニローダー …… 1セット エアレーター…………1台 取得金額……………9,328,000円 契約の相手方…ヤンマー沖縄株式会社	原案可決(全会一致)
報告第4号	令和3年度国頭村繰越明許費 繰越計算書の報告について	地方自地法施行令第146条第2項の規定による報告(16事業 / 翌年度繰越額192,274千円)	報告

令和4年第7回 臨時会(6月)

議案番号	件 名	議案等の概要	結果
意見書案 第2号	米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリの不時着に対する意見書	村民の生命・財産・安全・安心を守る立場から米軍及び関係当局に厳重に抗議する。(11ページ全文掲載)	原案可決(全会一致)
発議案 第2号	米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリの不時着に対する抗議決議	上段意見書と同じ(意見書と決議は宛先が異なる)※宛先は11ページへ掲載	原案可決(全会一致)

賛否が分かれたもの

○: 賛成 ×: 反対 欠: 欠席

議案番号・件名	採決の結果	山川 安雄	山城 正和	渡口 直樹	宮城 千賀子	金城 幸男	与儀 一人	宮城 誠	山城 弘一	知花 正寛	金城 議長
議案第41号 国頭村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)	○	×	○	○	○	×	○	○	○	—
議案第45号 令和4年度国頭村一般会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
議案第50号 国頭村過疎地域持続的発展計画の一部変更について	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—



知花 正寛
議員

**ヤンバルクイナの
観察小屋の設置等**

JTB沖縄の杉本社長は「世界自然遺産に登録された本島北部地域に、観光客に説明できるような施設がない。北海道の国立アイヌ博物館のような施設があれば大幅な誘客につながるだろう」と語った。

村長はこの発言をどう受け止めるか見解を伺う。

また、令和4年3月定例会で村長はあらゆるチャンネルを使って今後要請行動をやつていくと述べた。その後の要請行動状況を伺う。

答 知花靖村長

杉本社長の発言は同感であり、ありがたい。6月3日に北部市町村長と国立沖縄自然史博物館設立準備委員会と意見交換会があった。今後、やはり県の動向を注視しつつ、取り組んでいく。

局長とは面識があることから躊躇することなく、奥田局長、村長、沖縄県、久高さんとで議論の場を設けて、ヤンバルクイナの観察小屋の設置の実現に取り組むべきでは。

答 村長

構造物の整備による景観や植生、野生生物への影響、ヤンバルクイナの生息地に人が立ち入ることによる野生個体群への影響等を踏まえ、観察小屋の設置が実現可能か総合的に判断する必要があることから関係機関と検討していく。

エコツアーカーの認定制度の構築は

工コツアーカーは、旅行者に環境教育の場を提供し、自然環境保全の精神を育む自然生態系の持続的活用を図る観光形態である。オーバーツーリズムにより環境負荷が生じて、希少動植物が生息する国頭村の豊かな自然環境の破壊が懸念されるためプログラム認定制度を構築すべきである。

辺土名共同売店跡地の利活用は

村当局は、辺土名大通りの活性化のために辺土名区と交

足し、3村及び環境省、沖縄県と連携し取り組んでいく。

答 村長

3村協議会には誰一人専門家がいない。私は久高さんと一緒に連携した方がいいと思う。一緒に委員をしていた大学の先生が「久高さん、あなたは言うのが強すぎる。だから行政から嫌われるんだ。」と言われたそうだが、久高さんは「自分の主張ははつきり言うべきであって、嫌われてもいい。」と話したそうだ。皆さんも嫌わないで連携してやってほしい。

答 村長

建物の老朽化が進んでいるため、今年度解体する予定である。利活用については、辺土名区の代議員会等で協議していくと伺っているので、引き続き情報共有を図っていく。

辺土名ラウンジ、移住体験施設を中止して、民間に開放して観光客等を受け入れる飲食店などの店舗を増やして辺土名大通りの賑わいづくりをしてはどうか。

答 前田浩也 商工観光課長

最近、個人事業所、居酒屋等も少しづつ増えている。議員からあつた通り、賑わう大通り会ということで、今後大通り会と協議してどういう施策ができるか、また役場でも検討していきたい。

涉して民間活力の活用などで辺土名共同売店跡地をテナントビルにして飲食店街を形成し、世界自然遺産地域を訪れる観光客、ホテルなどの観光客や周遊客等を呼び込み地域経済の活性化を図るべきでは。

一般質問 6月の定例議会



山城 弘一
議員

問 今回、国頭村と与論町の児童交流事業を両町村で行つたが、それぞれ日程と交流はどうな内容であったか。

答 村長

沖縄祖国復帰50周年記念事業の総括と今後の国頭村と与論町との交流推進

国頭村を訪問した与論町の交流団は、団長以下6名の引率者と団員12名の計18名で、4月27日から30日までの3泊4日の日程で交流を実施した。国頭村の児童10名と与那の

沖縄祖国復帰50周年記念事業の総括について、国頭村と与論町の関係者が集まり協議を行う計画をしているか。

答 知花靖村長

去った4月28日に海上集会、記念行進、記念式典、かがり火、児童交流のメイン事業を無事に終了することができた。

令和3年度に実行委員会を発足し、地域の各種団体、関係者、そして共催の与論町など多くの皆様に御協力いただき、事業の総括については、与論町と記念誌発刊の取組も継続していることから、作成の過程において関係者による協議の機会を設けたいと考えている。

問 今回の沖縄祖国復帰50周年記念事業において、国頭村及び与論町が児童交流事業を実施したことで絆を深め、今後、さらなる両町村の友好・交流が発展していくと思っている。

答 村長

問 今後の国頭村と与論町の交流推進について、観光及び1次産業関係者を含めて推進する協議会が必要と思うが村の考えは。

答 村長

与論町に派遣した国頭村の交流団は、団長以下7名の引率者と団員12名の合計19名で、4月28日から30日までの2泊3日の日程で交流を実施した。与論町の児童7名とシユノーケル体験を通して児童交流を実施し、お互い楽しみながら友情を深め、町内の案内など地元の方には大変お世話になつた。

問 今回の児童交流事業で絆を深めることができたと思うが、今後の児童交流事業の推進はどうに考えているか。

答 村長

問 役場職員の人事交流について、継続が必要と思うが考えは。

答 村長

和歌山大学の教授を講師として招き、国頭村で講演会と森林公園にて観望会を開催した。今後、事業を進める中で、相互連携を推進していきたいと考えている。今年度は、与論町交流事業として国頭観光物産フェアと星空ツーリズム視察研修を国頭村観光協会に事業を委託し実施する。

幅広い分野で交流が実現できればと思う。与論町からは好都市盟約の締結についても依頼があることから、人事交流と併せて積極的に検討していきたいと考えている。

問 村内の国道58号未整備区間の早期事業採択は

問 宇嘉・座津武間1.3キロメートルの未整備区間にについて、早期の事業採択に向けて招き、国頭村で講演会と森林公園にて観望会を開催した。今後、事業を進める中で、相互連携を推進していきたいと考えている。今年度は、与論町交流事業として国頭観光物産フェアと星空ツーリズム視察研修を国頭村観光協会に事業を委託し実施する。

答 村長

沖縄総合事務局との行政懇談会をはじめ機会あるごとに要請をしている。

宇嘉集落から宇嘉トンネル間の未整備区間にについては、地理的条件や歩行者の利用が極めて少ないとから、現時点では整備計画はないが、歩行者の安全確保の観点から、注意喚起のためのカラーラインの整備等について検討したいとのことだ。

また、謝敷・佐手間の未整備区間も同様に要請しているが、当時の経緯を確認して検討するとのことで伺っている。

与儀 一人
議員国頭村過疎地域自立
促進計画について

平成28年度から令和2年度
国頭村過疎地域自立促進計画
事業費（見込み）で促進してきた。
人口の推移を見ると平成12年
5,825人、平成27年4,908人
と5,000人を割り込んでき
た。本村の財政事情は、各種
財政指標でも分かるように厳
しい状況にあり、一般行政經
費等の節減合理化、効率的な
財政運営、財源の重点的かつ
効率的な配分を行い、節度あ
る健全財政を営むため、中長
期的な視点に立った財政運営
の確立を図る。

問 定住促進住宅整備事業、過
疎化及び高齢化率の高い比地区
は村営住宅が未整備のため、若
者の定住する住居が乏しい状況、
定住促進住宅を整備、現在の
入居現状と効果、成果は。

答 村長 担い手農家の減少、耕作放棄
地の拡大、高齢化による生産力
の低下、有害鳥獣による被害や
物価上昇による経費負担増加な
どを要因とした生産意欲の低下
が挙げられる。

問 農業の現状と問題点その対
策においての効果、成果と将来
の課題は。

答 村長 ソディカ漁、パヤオ漁、潜り、
定置網漁等の漁種による水揚
げがある。問題点は、魚価の低
迷による漁業者の生産意欲の
低下や密漁被害等があり、対策
としてシャーベットアイス製氷機
導入による県外出荷や、今後は
東南アジア等海外への出荷も念
頭に入れた魚価を高める取り組

その他に、村営桃原団地新
築事業、国頭村水産近代化
施設整備事業などについて
質問しました。

答 知花靖村長

若年層の流出を防ぐとともに
に、移住者等の受入れ体制を整え
ることを目的に、平成30年度に整
備し令和4年6月1日現在、入
居状況は6戸中5戸に入居が
あり、残る空家1戸につきまして
も既に募集を行い、7月中には6
戸全て入居する予定だ。

5世帯13人が入居し、子供は5
人、そのうち2人は入居後に生ま
れた。

成果として、居住者が当該地
区の区長を務め地域活動に取り
組むほか、村内で起業し雇用の
創出が図られるなど、入居者は
地域活性化にも積極的に取り組
んでいる。

材の導入や、担い手育成等の強
化、農薬や堆肥等の補助、さらに
有害鳥獣駆除事業を導入し農
家の生産意欲の向上に努める。

問 林業の現状と問題点その対
策においての効果、成果と将来
の課題は。

答 村長 木材販売の低迷や、世界自然
遺産登録に伴う林業施業地縮小
などを要因とした林業經營の懸
念があり、森林施業の計画的推
進、環境保全の両立を進める中
で、新たに始まっている森林環境
譲与税、森林管理經營制度を活
用し林業經營の安定化に努める。

みのほか、密漁対策のパトロール
を国頭漁協にて実施をしている。
商工業の現状と問題点その対
策においての効果、成果と將
來の課題は。

問 商工業の現状と問題点その対
策においての効果、成果と將
來の課題は。

答 村長 辺土名商店街を中心として、
個人商店が商店街を形成してい
るが、40分程度で大規模商業施
設の多くが立地する名護市に行
くことができるため、大半の共同
店は閉店し、村内の商店は厳しい
経営状況にある。村内の商業振
興を図るために、15%のプレミアム
率を付加した「クイナ商品券發
行」で村内小売店の利用向上を
図り、一定の効果を上げている。
タンカン等の柑橘類、マンゴー、カ
ラギなどの農林水産物を使った
加工品の開発や、はちみつの販売
など新たな動きも出てきており、
商工会や関係機関と連携を図り
ながら、商品開発や販売促進な
どの支援を行っていきたい。

一般質問 6月の定例議会



渡口 直樹
議員

くにがみこども園の 環境整備を

開放的な園舎では子どもたちがのびのびと過ごせ、園庭では走り回ったり遊具や砂場で楽しそうに遊ぶ姿がある。

しかし、開園当初から保護者からの意見として多くあつたのが、雨降りには駐車場から玄関アプローチまで濡れることが多く、転倒等の危険性がある。また夏場の園庭で遊具や砂場等で遊ぶ際に日陰が少ないと検証し改善策を講じる必要性があると思うが所見を伺う。

答 知花靖村長

5月から梅雨時期に入り、毎日のように雨が降り続いている状況の中、こども園では

保護者の方々が傘を差しながら、子供が濡れないように駐車場から玄関アプローチまで、小走りで行く姿が見受けられ、転倒などの危険性があることは否定できないと考えている。

また、梅雨が明けると一気に日差しが強くなるため、子供の帽子着用、こまめな水分補給など、熱中症対策には十分気をつけて対応しておりますが、子供たちが安心、安全に園生活を過ごせるよう、環境づくりにも努めなければならない。

今後も子供たちが安心・安全に過ごせるよう、こども園の危険性を配慮しつつ、保護者等の意見を踏まえて検討していきたい。

本村のスポーツ推進 (人材育成強化)を

本村では、昭和62年・1987年に沖縄(海邦国体)が開催され、国頭村総合体育館にてウエイトリフティング競技が行われ、地元からの選手も活躍したこと覚えている。

当時、会場となつた総合体育館の建設目的や予算等の経緯を伺う。また現状における施設の安全性を伺う。

近年、本村ではウエイトリフティング競技選手の人材育成強化を計画的に推進していくを考慮し本村でウエイトリフティング競技選手の人材育成を考えはないか。

今後、本調査業務終了後の施設として評価を頂いてるところであり、このような環境の合宿が行われ、すばらしい環境づくりとしても努めなければならない。

建設目的については、昭和62年に第42回国民体育大会の海邦国体において開催された「ウエイトリフティング競技会場」として整備をされ、予算については、約4億9千万円となつてている。

本体育館は、鉄筋コンクリート造の面積は3,289平米で、昭和59年に完成し、建設から38年余り経過している。比較的立地しており、雨風の当たりも強く、外壁の劣化によるコンクリートの亀裂や剥離、天井の雨漏り、開閉扉の不具合など様々な箇所があり、安全

面の観点から、危険箇所を点検し、維持・修繕を行つているところである。

今年度において、老朽化の状態を把握するため、肉眼で確認できない外壁の劣化部分や天井の雨漏り箇所の特定などを、赤外線調査を実施する。

今後、本調査業務終了後の報告書に基づき、建物の実態を確認し、計画的に改修等、検討していきたいと考えている。

令和元年度にウエイトリフティングトレーニングハウスが完成し、ウエイトトレーニング専用施設として、男女ナショナルチームの合宿が定着し、県内外の大学及び高校の合宿も受入れ、施設の利用促進に努めている。

現在、辺土名高校のウエイトリフティング部には外部指導者が1名おり、定期的にウエイトトレーニングハウスも活用している。ウエイトリフティング部の存続に向け、部員の確保や指導者育成の強化も含め、関係機関と連携していきたい。

答 村長



山川 安雄
議員

地産地消促進基本計画

国頭村地産地消促進基本

計画の課題として「稼げる農業」の推進、「新規販路の確立」、客観的な質の差別化、生産者と流通者との連帯感、情報交換・マッチングの場としての機能ファシリティーの役割がない状況などが記載され、目的達成のため、地産地消促進に向けたノウハウを持つものの招聘・中間支援体制の構築が記されている。具体的アクションプランを伺う。

答 知花靖村長

地域プロジェクトマネージャー制度を活用し関係者間を橋渡しする「ブリッジ人材」を起用し、課題の整理や新たな取組、プランから調整、実施に至るまでを一貫して取り組める人材を起用することで、より着実な成果を上げることができるものと考えている。

答 田場盛久 農林水産課長

農家、行政、各機関、物産センターや安波の道の駅他、各事業所のつながり、取りまとめをしっかりと、プロジェクトが自走化をするための体制整備が必要なので当制度を活用する。

星空観光

環境省やんばる国立公園ナイトタイム活用検討業務報告書に、国頭村は星空ツアーリーの実現が可能で星空特区申請も視野に入れたコンテンツづくりが期待される

とある。星空観光は通過型でなく滞在型につながり必然的に宿泊客が増え、飲食売上、お土産の売上増加、村民の所得向上につながる。今年度は星空保護区の事前調査を行うとのことだが今後の進め方を伺う。

答 前田浩也 商工観光課長

森林公園、安田くいなふれあい公園、奥ヤンバルの里、やんばる学びの森一体を星空保護区としてダークスカイパークという位置づけにする。その光害対策も含まれて、この地域が星空保護区に認定す

るに当たるかどうかの調査を行なう。11月ぐらいまでに調査を終えて、次年度、この星空保護区の申請で認定までを想定して動いている。

Wi-Fi環境の整備

国頭村、やんばる3村にとつて優れたWi-Fi環境の整備は必要不可欠なことであり、

Wi-Fi環境のより充実した整備は観光、教育には即効性があると思われる。また、DX化は

地域経済、コミュニティー、福祉など大きな地方創生の流れであるが、現状と課題含めてどのように考へておられるか伺う。ポストコロナの時代は地方において高速通信のインフラが企業誘致の決め手になる。また地方創生の地域プラットフォームを考えても地方には低価格で高速の通信インフラ、高速インターネットは必須になるとよく聞く、どのように進んでいくか伺う。

答 村長

Wi-Fi環境のより充実について切れ目のない通信環境

その他に、「一括交付金」稀少種保護対策事業などについて質問しました。

が望まれるので、観光などの拠点施設だけでなく教育、医療・福祉施設、公民館などの拡充が課題と考えている。自治体DXの推進に当たっては行政手続のオンライン化などを併せて通信環境を含めた地域社会のデジタル化に取り組み、住民の利便性の向上につなげるよう取り組んでいく。

答 宮城明正 副村長

国頭でも展開可能なテレワーク、リモートワーク、ワーケーションでは外出先でも自分の携帯電話、Wi-Fi機能のあるパソコンを持つていると、どこでも仕事ができる環境になれる。我々が目指すべきことは働き方改革も含めていかに都会から人を呼び込むかであり、Wi-Fiの利性はあると感じる。どう進めるかは岸田内閣の政策の一つの柱なので制度を活用しながら取り組みたい。

一般質問 6月の定例議会



宮城 千賀子
議員

ほとんどである。

今後、村内集落道路の現状と地域の意向を確認しながら、地域住民の安全確保の観点からも、効果的なスピード抑制による対策を検討していく。

集落内の速度制限標示を

本村の集落内道路は、速度制限速度標示の無い箇所が多い。集落内を高速度で走る車両に危険を感じることが多々あり、村民の安心、安全を確保するためにも、未標示箇所の確認と対策を講ずるべきと思うが、村の考え方伺う。



40キロでいいの？(奥間区内)

問 村内の密猟の現状、情報等について

答 村長

環境省・沖縄県では密猟対策として、村営林道、県営林道や県営林地内を対象にパトロールを行っている。

村内における密猟の現状、情報等について環境省に確認を行ったところ、昆虫を採取するためのトラップを複数件確認・撤去しているとのこと。

なお、村有地内においてトラップが発見された場合は、国頭村および環境省の連携でトラップの撤去を行っている。(トラップ＝昆虫採取のための罠)

問 入山許可申請状況について（現状と課題）

答 村長

昨年度の実績として、30件の申請があり許可をしている。

調査関係の申請が多く、次いで自衛隊や消防の訓練、テレビ局の撮影等である。

課題としては、無許可で入山している者がいた場合には、把握ができない状況であること。



ペットボトルやストッキングで作られた罠



問 日中対策について

答 村長

今年度において「林道等監視強化事業」を実施する予定となつており、本村の事業において村営林道を中心に行い、密猟の状況把握、外来植物の生息状況、口一ドキルの発生状況等について把握することを目的に実施を検討している。

村内にある集落内道路については、「道路の構造上」「その他の道路」に区分され、設計速度の定義は「運転者が道路のある区間で快適性を失わず維持することができる速度」とされている。

設計速度については、道路の曲線・勾配・視距離・線形等道路構成により道路管理者が決定しているが、集落内道路については、幅員が狭いことや歩行者への影響もあり、標識が設置されていないのが

答 知花靖村長

本村の集落内道路は、速度制限速度標示の無い箇所が多い。集落内を高速度で走る車両に危険を感じることが多々あり、村民の安心、安全を確保するためにも、未標示箇所の確認と対策を講ずるべきと思うが、村の考え方伺う。

密猟対策について

密猟の防止を目的とした林道の夜間通行止めやパトロールが行われてきたが、現在でも密猟と思われる情報が多く寄せられ、予断を許さない状況が続いている(県の情報)。

世界自然遺産登録後は、夜間に限らずに日中においても不審な車両を見かける事が多くなり、日中対策の必要を強く感じる。関連機関と連携を図りながら対策を講ずるべきではないか。

問 入山許可申請状況について（現状と課題）

答 村長

昨年度の実績として、30件の申請があり許可をしている。

調査関係の申請が多く、次いで自衛隊や消防の訓練、テレビ局の撮影等である。

課題としては、無許可で入山している者がいた場合には、把握ができない状況であること。



山城 正和
議員

今後、区民との合意を前提に調整を図っていきたいと考えている。

鏡地地区内ホテル建設とヘリポート建設計画について

問 立地条件などからしても地域住民生活の環境に大きな影響が懸念されることから、住民の合意形成が難航している現状である。

答 村長

規模にもよるが、都市部においては住宅密集地、集落部においては、集落内の海沿いや集落外れ、または道を挟んだ地域において事例がある。

答 知花靖村長

ヘリポート建設計画が鏡地地区内ホテル建設計画とセツトになっていて、条例で指定された旧与那トンネル及び隣接公園（伊地区地内の村有地）で、事業関係者は一体として計画を推進したいとしている。このヘリポート建設計画は、条例及び土地利用計画など多くの課題の議論が必要であり、近隣の各区を含めた村民の合意形成が重要であると考えますが、村の対応はどうされるか。

答 村長

ヘリポート建設計画はホテル建設計画と一対の計画となつておらず、ホテル建設計画の進捗状況を踏まえながらヘリポートの建設計画も進めていく予定だと伺つておりますが、段階では詳細な調整等は行つてない。

区民の合意形成については、景観条例の手続上、地域との協議が済んだことを証する書類として地域協議書の提出が必要となつていて、事業者へも区民の合意が大前提である旨の説明をしており、

「核兵器廃絶平和の村」を宣言する決議の碑建立を

問 国頭村議会は昭和61年9月27日、議員任期最終日に議員定数18人構成、うち1人欠員で、全会一致で「核兵器廃絶平和の村」を宣言する決議が採択された。その全文は以下のとおりである。「恒久平和は人類の願いであり、平和を愛する国頭村民の願いである。核兵器は今日、人類とあらゆる生命の存在に深刻な脅威を与えていた。世界で唯一の被爆国民として、また悲惨な戦争を体験した沖縄の住民として、この地球上から核兵器の廃絶と戦争の根絶を訴えるものである。緑豊かな美しい郷土、国頭村の自然を守り、永遠の平和を願い、幸せな村民生活を守る決意を込めて、ここに「核兵器廃絶平和の村」を宣言する。」以上であります

その他に、奥交流館の民具資料と書籍管理及び活用計画の策定について、辺野喜一号林道の災害復旧を早期実施することなどについて質問しました。

さと世界自然遺産を守る村民の総意を内外に発信するため、「核兵器廃絶平和の村」碑の建立を庁舎敷地内に実現できるよう努力できないか。

答 村長

沖縄県は第二次世界大戦において悲惨な地上戦を体験した唯一の県であり、また、広島や長崎は世界唯一の核被爆国として、この惨禍を再び繰り返してはならない。

昭和61年9月27日に村議会が「核兵器廃絶平和の村」宣言を決議したことは、二度と戦争を繰り返してはならないことを訴えるとともに、そのことを子孫に伝えていくことであり、村民の願いでもあると考えている。

「核兵器根絶平和の村」碑の建立については、様々な意見等を踏まえて検討していく。

発議案第2号

米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリの 不時着に対する抗議決議

去る6月18日午後2時45分頃、国頭村宜名真の牧草地に米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリが不時着した。

現場は辺戸岬周辺の農地や国道58号に隣接し、観光地の辺戸岬や大石林山などへの交通量の多い場所である。

辺戸岬周辺はやんばる国立公園に含まれており、米軍の訓練区域外である。これまで米軍機の低空飛行が何度も目撃されていることから、本村議会は令和3年2月19日に抗議決議をし、再三の要請にもかかわらず無視されて米軍機飛行訓練が行われていることは断じて容認できない。

よって、本村議会は村民の生命・財産・安全・安心を守る立場から米軍及び関係当局に再度厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要請する。

記

- 1 CH53E大型輸送ヘリの事故原因を徹底究明し、結果を速やかに公表すること。
- 2 住宅、学校、病院などの民間地上空及び、やんばる国立公園地上空での米軍機飛行訓練を禁止すること。
- 3 不時着現場の原状回復及び補償を速やかに行うこと。
- 4 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

以上、決議する。

令和4年6月21日

沖縄県国頭村議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事
在沖海兵隊基地司令官

(意見書あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官(沖縄基地負担軽減担当)
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長 沖縄県知事

令和4年高齢者叙勲 宮城清 氏 旭日単光章受章

平成2年9月に国頭村議会議員初当選以来、3期12年の永きにわたり在職し、地方自治の振興発展に尽力した。

2期8年文教経済委員（副委員長歴任）として、1期4年総務財政委員として、議会の立場から各種提言を行い、産業の振興、生活環境の基盤整備に積極的に取り組み、村の活性化、村勢の振興発展に寄与した。

その功績はきわめて多大であるとして、令和4年4月1日に旭日単光章を受章された。



広報委員会のまとめ

今回の126号は、現広報委員会にとって締めくくりの発行となります。議会を分かりやすく伝えることを編集の柱とし、その時々の話題を反映させた表紙の工夫、「審議の賛否が知りたい」との村民の声に応えた一覧表、レイアウトの見直し等を行ってきました。

課題も多くありますが、議会だよりが多くの村民の方々に関心をもつて頂けるよう願って、次期メンバーにバトンを渡します。

表紙の題字を書いてくれた村内児童生徒の皆さん、ご意見をくださった村民の皆さん、ご協力ありがとうございました。



議会傍聴へのおさそい

村議会は3月、6月、9月、12月と年4回の定例議会が開催されます。9月定例会は9月15日(木)開会予定です。日程が決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

※役場1階ロビーのテレビでも議会を視聴することができます。

一般質問の内容は

一般質問通告書の質問・答弁を基本に(会議録に基づき)各議員でまとめ、議会広報委員が確認したものを掲載しています。



パークで健康維持を

最近、私たち夫婦は時間の許す限りパークゴルフを楽しんでいます。足腰を鍛え、老後の健康維持と夫婦共通の話題が必要だとの思いからである。

私たち以外にも夫婦でプレーをしている方々も多く、和気あいあいとゆんたくしながら、楽しく充実した時間に心も弾む。

老後の楽しみも健康あってこそ！健康づくりや仲間づくりのために、パークゴルフを始めてみませんか！

金城 幸男